



丹波市立中央小学校

# 校報

TEL 82-1033

FAX 82-1508



校報ホームページ

## 来年度に向けて日本の教育が進化します！ 中央小学校も進化します！

日本の学校教育は、およそ10年毎に教育内容を示した「学習指導要領」が改訂されます。今回の改訂では、AI技術の進展とともに予測困難な時代の到来を前に、何を知っているかという知識を問う教育から、何ができるのか、どのように学ぶのかという課題対応力を問う教育へと変化していきます。そして、プログラミング教育、外国語活動の時間数増加なども加わります。新学習指導要領の実施まで一年を切り、次代を想定した教育に転換を図るのが、今年度です。また、中央小がこれまで大切にしてきた人権教育を柱にしつつ、人とのつながりやたくましさの育成、学習意欲の向上といった独自の課題解決にも取り組んでいかなければなりません。この特別号では、主な進化・改善ポイントを紹介します。

### 1 コミュニティ・スクールの導入

学校も家庭も地域も、かかわる子どもは同じ子どもです。どのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有し、行動を共にすることが大切です。保護者、地域からの意見を学校教育に活かし、地域人材を積極的に活用するシステムとして、コミュニティ・スクールを導入します。



サポーターによる下校見守り

### 2 本物に触れる機会の充実

人とのつながり、自然や芸術文化など、本物に触れることで、豊かな情操は育ちます。コミュニティ・スクールを活用し、「田植え体験」や「昔遊び」なども継続し、地域の人から学ぶ機会を充実させていきます。また、『劇団風の子九州』を招いた演劇鑑賞も行います。



田植え 体験学習

### 3 自立を促す学習スタイル

一律に決められた課題をこなすばかりでは、自立的な力はつきません。単元テストの繰り返し実施、毎日の小テストで自己のウィークポイントをはっきりさせ、個別に課題意識を持たせます。また、算数問題集を一括購入し、ウィークポイント発見にも役立てます。

#### 4 たくましさを育てる『ムキムキタイム』

体を動かす機会が少ない児童も多く、柔軟性、筋力、瞬発力に課題が見られます。そこで、めあてと振り返りを意識した体育授業により、体力や運動能力の向上に努めます。また、毎週火曜日の業間休みに、ゲーム感覚で体力向上に取り組む『ムキムキタイム』を新設します。

#### 5 脳科学・心理学を柱とした幼小連携

「聴き合い、対話し、学び合う学び」は、小学校の時期だけで育てることはできません。また、幼児期の特性、幼児教育を小学校で活かし切れていないことも考えられます。そこで、認定こども園ふたばと連携し、脳科学を柱に、脳や心の発達段階の特性を踏まえた授業を研究していきます。

#### 6 3年生からの外国語活動を実施・外国の学校とのネット授業

担任のほか、アメリカ人の James Lin 先生、元中学校英語教師の教頭先生が講師になり、3,4年生は15時間、5,6年生は50時間実施します。また、昨年度交流のあったオーストラリアの小学校とインターネットでテレビ会議を行い、生きた英語を聞いたり、話したりします。



インターネットでのテレビ交流

#### 7 プログラミング教材を活用した授業

世界最小のプログラミング教育用ロボット「Ozobot」や小型コンピュータ「micro:bit」を使って、楽しみながらプログラミング的思考を身につけていきます。

#### 8 学年発表を「表現タイム」に変更

これまで行っていた学年発表を見直し、聴く力とともに書く力も育てる表現タイムに変更します。どの学年も国語の授業として取り組むため、単なるイベント的な発表会にはなりません。授業ですので、朝の時間に固定されず、5校時になることもあります。ご理解をお願いします。

#### 9 『C-1グランプリ』は継続実施

子どもたちの「やってみよう！」という意欲と豊かな発想を育てなくてはなりません。今年度も、体育館をあたたかい笑いの渦に巻き込んでくれる『C-1グランプリ』を継続実施していきます。ぜひ見に来てください。



『C-1 グランプリ』での漫才

#### 10 子どもと向き合うゆとりをつくるための業務改善

先生の超過勤務時間がニュースの話題になっています。本校も現状は同じです。毎週水曜日を定時退勤日とし、仕事にメリハリをつけます。また、職員を「学校づくり部」「生活づくり部」「学習づくり部」「心づくり部」の4部会に分け、会議の効率化を図ります。お盆期間の閉庁も行います。ご理解をお願いします。